

「負けられない戦いが、そこにある！」上岡・臼井

日々、熱戦が繰り広げられているサッカーワールドカップ。寝不足の方も多いのではないのでしょうか。キャプテン翼で覚えたルールや技を生かすことができますね☆セネガル戦では長谷部選手がまるでフィールドの貴公子、三杉君に見え…おっと、いろんなものがバレそうなのでこのくらいに…。惜しくも日本はベルギーに敗れてしまいましたが、数々の感動をありがとう！！そして優勝にはどのチームが輝くのか楽しみですね！まだまだ目が離せません！ワールドカップは4年に1度ですが、皆様も日々、負けられない戦いの中で生きておられることと思います。私たち船越事務所は皆様のパートナー&サポーターです☆この熱い戦いを一緒に戦ってまいりましょう！季節的にも、暑い日が続いてますが、これからが夏本番。水分補給や塩分補給などして、体調管理には十分にお気をつけてくださいね♪



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【仮想通貨】

主にインターネット上でやり取りされる電子データのみの通貨のこと。日本円やドルなどの法定通貨は国家がその価値を保証し紙幣や硬貨という現物が存在するが、仮想通貨は国家による保証はなく現物も存在しない。ブロックチェーンなどの暗号化技術によって安全な取り引きができるとされている。ビットコインやイーサリアムが代表格で現在は約1600種類あるといわれ、迅速かつ格安の手数料で送金できるなどのメリットがある。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【奇策と忠義の風雲児「高杉晋作」】

幕末の混乱期、新時代への道を開いた高杉晋作は1839年、現在の山口県萩市に生まれました。家は代々毛利家に仕える長州藩の名家で、父・小忠太も要職に就いていました。

10歳の頃、天然痘にかかり九死に一生を得た晋作は、その後遺症であばた顔となってしまいます。それを周囲にからかわれた悔しさがバネとなり、負けん気の強さや逆境で力を発揮する胆力を育てたといわれています。13歳になると藩校の明倫館に入学するも旧態依然とした学問の内容に物足りなさを感じます。そして18歳で松下村塾に入門、吉田松陰の教えに出会い大きく成長したのです。その後、藩主の世話役となって本格的に藩政に関わるようになった晋作は、視察で上海を訪れます。そこで欧米列強の支配を目の当たりにし、幕藩体制が大きく揺らぐ日本の状況に危機感を覚えたのです。晋作が倒幕を強く訴える中、長州藩は幕府や欧米列強と対立します。藩が敗戦の危機に瀕するたびに、晋作は奇兵隊で庶民の力を活用したり、意表を突く講和談判をしたりと奇想天外かつ大胆不敵な手法で藩を救います。盟友である伊藤博文には「動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し」と評された晋作。自身は「人は旧を忘れざるが義の初め」という言葉を遺しています。情熱と機転と行動力を持ち、忠義の心で幕末を走り抜けたわずか27年間の生涯でした。



今を生きる 先人の言葉

楽しきと思ふが
楽しきもとなり

江戸時代の大名である松平定信の言葉。「楽しいことはないか？」と待っていても何も起きない。何事も楽しむ前向きな気持ちでいると全てが楽しくなるのだろう。

トレンドを斬る!

高速道路に宿泊施設を備えたサービスエリア（SA）が急増しています。特産品やグルメなどが旅の途中に楽しめる人気

SAですが、宿泊施設やコインシャワーなどは長距離ドライバーに向けたサービスです。宅配荷物の増加に伴い人手不足に陥った運送業界で、負担を強いられたドライバーが安全で快適な運転ができるためのサポートが模索されています。観光目的のドライブでも物流を担う大型トラックでも、利用者たちのニーズを的確に捉えた進化は続いています。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【商売のT/R比バランスは保たれていますか？】

夏の日差しを受けて植物がぐんぐんと育つ季節。見上げるほどの大木を見ると、さぞかし根っこも立派なのだろうと想像します。植物の世界には「T/R比」という法則があります。地上に見えている幹や茎や葉の部分（Top）と、地下にある根っこの部分（Root）の重さの比率はほぼ一定でバランスを保っているという法則です。健全に育っている植物のT/R比は3~4。もしも根っこが切れてしまったら、樹木は自ら枝葉を落として正常なT/R比を保とうとするそうです。逆に枝葉が折れてしまったら根の量を減らしてバランスを保つという自然界の不思議な法則です。地上に見えている部分は全体の7割くらいですが、大きな木を支えているのは言うまでもなく根っこの部分。見えていない3割が地下で木を支えているわけです。根っこが十分に発達していないと木は倒れてしまいます。



地下で根っこが深く広く根ざしていくほどに、地上では幹や葉っぱが縦に横にと伸びていく。書籍『奇跡のりんご』で知られる木村秋則さんが「植物を手本にして生きれば、間違いはない」と言うように、植物だけでなく勉強でもスポーツでも商売でも、根っこがしっかりしていることはとても重要です。



けれど、どうしても表面的なものを求めたり、目先のお金を追いかけてしまったりと、枝葉にばかり意識が向いてしまうことはありませんか。それは商売のT/R比が崩れている状態でしょう。一見、華やかな成功を収めている人が、実は陰で人の何倍も努力していたという話は美談で終わりがちですが、表面的な結果が大きければ大きいほど見えないうところでしっかりと根を張っていることを、改めて心に刻んでおきたいものです。

ところで「大地にしっかりと根を張って」という話をすると、その大地がもともと荒れ果てていたら根の張りようがないと返す人がいます。何でも環境のせいにしては、根を張る前に種まきさえもできません。数ミリでも隙あらばコンクリートの割れ目からも顔を出す雑草のたくましさまぶしく感じられます。

トナリの

本棚



【ブラックペアン 1988】

バブル景気真っ盛りの1988年、大学病院を舞台に1人の研修医が成長していく姿を描いた医療ミステリー。患者のために医師はどうあるべきかをテーマにブラックペアン（止血鉗子）の真実に迫ります。衝撃的なラストが胸を震わせます。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております ☺☺☺☺☺☺